

事業番号	事務事業名	戸籍住民基本台帳臨時管理費	所管課名	住民税務課	令和 3 年度課長名	産賀 雄史
00772	政策名	5 みんなでつくる里づくり	係名	住民窓口係	担当者・シート作成者	丸下 智子
	施策名	53 効率的な行財政運営の推進	根拠法令等	個人番号法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	マイナンバーカードの普及とマイナンバーの利活用の促進に関する方針に基づき、マイナンバーカードの申請の補助及び交付を行う また、マイナンバーカードの電子証明書の更新を行う	マイナンバーカードの交付円滑化計画の策定が求められ、計画に沿ってマイナンバーカードの申請サポート及び交付を実施するため

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 住民税務課職員	ア 住民窓口係職員数	人	見込 実績		8 7	8 7	8	8
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 戸籍住民基本台帳事務の円滑化	ア 人口	人	目標 実績 達成率		12,143 12,625 104.0%	12,497 12,497 100.0%	11,800	11,800 105.9%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア マイナンバーカードの申請・交付・更新	ア 申請件数	件	目標 実績 達成率		12,143 5,677 46.8%	12,497 7,209 57.7%	11,800	11,800 61.1%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 02		項 03		目 01		中事業 03		予算上の事業名			事業番号
	一般会計		総務費		戸籍住民基本台帳費		戸籍住民基本台帳費		01 03		戸籍住民基本台帳臨時管理費			00772
予算(千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	
国庫支出金		8,492	9,354			862	国庫支出金		5,586	5,478			-108	
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源		1,799	1,484			-315	一般財源		1,184				-1,184	
合計		10,291	10,838			547	合計(A)		6,770	5,478			-1,292	
財源名称	通知カード個人番号カード関連事務交付金					従事正職員人数			2	2				
						延べ業務事務時間			240	240				
						人件費計(千円)(B)			802	804			2	
	最終予算額		10,838 千円		予算執行率	50.5%		トータルコスト(A+B)			7,572	6,282		-1,290
主な 支出事業内容 (予 算)	需用費(消耗品費)				157 千円		主な 支出事業内容 (決 算)	需用費(消耗品費)				125 千円		
	役務費(通信運搬費)				959 千円			役務費(通信運搬費)				729 千円		
	負担金、補助金				9,658 千円			負担金、補助金				2,645 千円		

事業番号	00772	事務事業名	戸籍住民基本台帳臨時管理費	所管課名	住民税務課
------	-------	-------	---------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
マイナンバーカードの全国民所有に向けて、マイナポイントの特典や、有効活用法など情報をうけて申請者は増加している。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
通常の住民窓口だけでなく、出張申請受付や延長窓口、休日開庁などを行っている。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
マイナンバーカードに関する国からの情報が遅く、内容も詳細でないため、住民からの問い合わせに苦慮している。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明
	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明
効率性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明
公平性 評価	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明
	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明
公平性 評価	⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明
公平性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明
公平性 評価	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果	②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④担当課としての事業の方針
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題	